

IV. 研究成果の発信・普及

1. 出版物・報告書・ウェブ記事の製作

(1) 和文・英文機関誌および IDE スクエア編集委員会

①和文機関誌「アジア経済」

- ・第 64 巻第 2 号から第 65 巻第 1 号までの 4 点を刊行した。
- ・2023 年度編集委員会メンバーは下記のとおり。

委員長：川上桃子（地域研究センター）

所外委員：岡田勇（名古屋大学教授）、金成垣（東京大学教授）、田原史起（東京大学教授）、深町英夫（中央大学教授）

所内委員：青木まき（地域研究センター）、木村公一朗（開発研究センター）、荒神衣美（新領域開発センター）、小林昌之（新領域研究センター兼学術情報センター）、橋口善浩（開発研究センター）

②英文機関誌「The Developing Economies」

- ・Vol.61 No.2 から Vol.62 No.1 までの 4 点を刊行した。
- ・2023 年度編集委員会メンバーは下記のとおり。

委員長：黒崎卓（一橋大学教授）

所外委員：木島陽子（政策研究大学院大学教授）、久保慶一（早稲田大学教授）、塩路悦朗（一橋大学教授）、神事直人（京都大学教授）、町北朋洋（京都大学准教授）、矢野 剛（京都大学教授）

所内委員：明日山陽子（開発研究センター）、柏原千英（学術情報センター）、菊池啓一（地域研究センター）、工藤友哉（開発研究センター）、桑森啓（開発研究センター兼学術情報センター）、田中清泰（開発研究センター）、塚田和也（開発研究センター）、早川和伸（ジェットロ・バンコク事務所）、福西隆弘（開発研究センター）、高橋学（学術情報センター）

③ウェブマガジン「IDE スクエア」

- ・計 69 本の記事を公開した。
- ・2023 年度編集委員会メンバーは下記のとおり。

委員長：安倍 誠（新領域研究センター）

委員（所内）：石塚二葉（新領域研究センター ※2023 年 10 月 1 日より）、伊藤成朗（開発研究センター）、今満亨崇（学術情報センター）、上谷直克（地域研究セ

IV. 研究成果の発信普及

ンター)、川村晃一(地域研究センター ※2023年9月30日まで)、金信遇(研究企画部)、熊谷聡(開発研究センター)、谷口友季子(地域研究センター)、塚田和也(開発研究センター)、辻田祐子(新領域研究センター)、内藤寛子(地域研究センター)、中村正志(地域研究センター ※2023年10月1日より)、長峯ゆりか(研究推進部)、新田淳一(学術情報センター)、深井啓(研究推進部)、藤田麻衣(地域研究センター ※2023年9月30日まで)、道田悦代(新領域研究センター)、箭内彰子(新領域研究センター)

(2) 2023年度出版物・報告書・ウェブ記事一覧

①定期刊行物

『アジア経済』和文機関誌(季刊 B5 判) 第 64 巻第 2 号～第 4 号、第 65 巻第 1 号
<i>The Developing Economies</i> 英文機関誌(季刊 B5 変型判) Wiley 刊行 Vol.61 No.2～No.4, Vol.62 No.1
『アフリカレポート』No. 61
『ラテンアメリカ・レポート』Vol. 40 No.1, Vol. 41 No.1
『アジア動向年報 2023』
『アジア動向年報 1990～1999 バンドル版』

②単行書(eBook)

権威主義的反動と新自由主義——ドゥテルテ政権の6年——	川中豪・鈴木有理佳 著
ラテンアメリカ経済入門	清水達也 編
発展途上国における経済のデジタル化——アフリカ・東南アジア・ラテンアメリカの事例から考える——	濱田美紀 編
アジアの障害者の政治的権利——選挙権と被選挙権の実質的平等を求めて——	小林昌之 編
強化されるフン・セン体制——2023年カンボジア総選挙と世襲内閣の誕生——	山田裕史 編
ASEANと日本——変わりゆく経済関係——	濱田美紀 編

③IDE Discussion Paper Series

IV. 研究成果の発信普及

No. 851	The US–China Relations and the Impact of the US–China Trade War: Global Value Chains Analyses	Bo Meng, Yuning Gao, Tao Zhang, Jiabai Ye
No. 852	The Impact of the U.S.-China Conflict and the Strengthening of Export Controls on Japanese Exports	Kazunobu HAYAKAWA, Keiko ITO, Kyoji FUKAO, and Ivan DESEATNICOV
No. 853	Ripple Effects in Global Value Chains: Evidence from an Episode of the US–China Trade War	Kazunobu HAYAKAWA, Ju Hyun PYUN, Nobuaki YAMASHITA, and Chih-hai YANG
No. 855	Who Supports Free Trade in Developing Countries and Why: Comparative Advantage vs the Skill Premium	Yasushi HAZAMA
No. 856	Economic Diplomacy on Turkish Foreign Policy under AKP	Kohei IMAI
No. 857	The Trade Effect of Economic Sanctions: Evidence from the 2022 Russia–Ukraine Conflict	Kazunobu HAYAKAWA, Satoru KUMAGAI
No. 858	Environmental Protection after Civil War: A Difference-in-Geographic-Discontinuity Approach	Kyosuke KIKUTA, Yuta KAMAHARA
No. 859	Rainy Friday: Religious Participation and Protests	Kyosuke KIKUTA
No. 860	Learning Entrepreneurship as an Employee	Yoko ASUYAMA
No. 861	Impacts of Tariff Rates on Input Source Choice: Evidence from Indonesia	Siwage Dharma NEGARA, Dionisius A. NARJOKO, and Kazunobu HAYAKAWA
No. 862	Heterogenous Impacts of Trade Liberalization on Individual Wages: Evidence from Thailand	Sasatra SUDSAWASD and

IV. 研究成果の発信普及

		Kazunobu HAYAKAWA
No. 863	Impacts Trade Liberalization in the Least Developed Countries: Evidence from Lao PDR	Phouphet KYOPHILAVONG and Kazunobu HAYAKAWA
No. 864	The Substitution Effect of U.S.-China Trade War on Taiwanese Trade	Chih-hai YANG and Kazunobu HAYAKAWA
No. 865	The Substitution Effect of Preferential Tariffs on Non-tariff Measures: Evidence from Vietnam	Chuc Nguyen DINH and Kazunobu HAYAKAWA
No. 866	Do Politically Irrelevant Events Cause Conflict? The Cross-continental Effects of European Professional Football on Protests in Africa	Kyosuke KIKUTA, Mamoru UESUGI
No. 867	The Drowning-out Effect: Voter Turnout, Uncertainty, and Protests	Kyosuke KIKUTA
No. 868	How the rise of teleworking will reshape labor markets and cities?	Toshitaka Gokan, Sergei Kichko, Jesse A. Matheson, Jacques- François Thisse
No. 869	Does the Product Characteristic Distance Get Closer or Not? Differentiation and Imitation in a Hotelling Model	Koichiro KIMURA
No. 870	Tariff Pass-through: The Case of China's WTO Accession	Mi DAI
No. 871	The Trade Effect of Non-tariff Measures in a High-quality Trade Agreement	Kazunobu HAYAKAWA, Juthathip JONGWANICH, and Archanun KOHPAIBOON
No. 872	(Asymmetric) Tariff driven Foreign Direct Investment: Evidence from Korean firm-level data	Ju Hyun PYUN
No.	The Trade Impact of U.S.-China Conflict in Southeast	Kazunobu

IV. 研究成果の発信普及

873	Asia	HAYAKAWA
No. 874	Simulating the decoupling world under Russia's invasion of Ukraine: An application of IDE-GSM	Satoru Kumagai, Kazunobu Hayakawa, Ikumo Isono, Toshitaka Gokan, Souknhlan Keola, Kenmei Tsubota and Hiroya Kubo
No. 875	Mobile phone ownership, income diversification, and household welfare in rural Bangladesh	Masanori Matsuura, Abu Hayat Md. Saiful Islam, Salauddin Tauseef
No. 876	The Technological Distance Between Chinese Firms: Deepening and Diversifying Technologies	Koichiro KIMURA
No. 877	The Political Economy of Egypt's Hydrohegemony in the Nile Basin	Housam DARWISHEH
No. 878	Reconceptualizing Hydrohegemony: The Dynamics of Sudan-Egypt Relations Over the Nile Hydropolitics	Mohamed Omer ABDIN & Housam DARWISHEH
No. 879	Exporting and Institutions: Firm-Level Evidence from Malaysian Manufacturing	Cassey LEE
No. 880	Covid-19 vaccine hesitancy in Indonesia: Association between trust in the government and vaccination coverage	Takayuki HIGASHIKATA
No. 881	Behavioral Characteristics of MRIO-Based Global AGE Models with Variable Elasticity of Substitution between Varieties	Kazuhiko OYAMADA
No. 882	Determinants of the Rules of Origin in Regional Trade Agreements in Asia	Kazunobu HAYAKAWA, Hiroshi MUKUNOKI, Fukunari KIMURA, and Shujiro URATA

IV. 研究成果の発信普及

No. 886	Air and maritime transport connectivity during COVID-19 pandemic	So UMEZAKI and Jinichi UEMURA
No. 891	The Double-edged Sword of Digital Governance in China: Can digital governance enhance the legitimacy of authoritarian regimes?	Zhe REN
No. 883	Revisiting the Role of ICT in China's Growth	David Tao Liang, Harry X. Wu
No. 888	Competition between heterogenous online and offline firms	Xiwei Zhu and Toshitaka Gokan

④IDE スクエア記事

題名	執筆者	カテゴリ
2022年マレーシア総選挙における「緑の波」とその背景	谷口友季子	論考
ベネズエラふたたび政治の季節——権威主義体制下の選挙と国際的要因	坂口安紀	論考
大国の隣で生きる——フィンランドとトルコ	今井宏平	世界を見る眼
タイ下院総選挙 2023——選挙の先を睨んだ政党間の攻防	青木まき	世界を見る眼
マルコス政権の『フィリピン開発計画 2023-2028』	鈴木有理佳	世界を見る眼
世界各国の輸入における中国依存度	早川和伸	世界を見る眼
(2022年中国共産党第20回党大会) 第6回習近平時代における欧州の対中姿勢の変化	ヴィダ・マチケナイテ	世界を見る眼
インドネシアのU20男子W杯開催国への野心と挫折——その舞台裏での大統領選挙に向けた駆け引き	水野祐地	世界を見る眼
革新派野党の躍進、タクシン派野党の迷走——タイ下院選挙の分析と連立形成への展望	青木まき	世界を見る眼

IV. 研究成果の発信普及

エルドアンの大統領選挙—2023年5月トルコ大統領・国会選挙	間寧	世界を見る眼
安定的な世襲の実現に向けて—2023年カンボジア総選挙	山田裕史 新谷春乃	世界を見る眼
ホンジュラス内政からみた台湾から中国への外交関係切替	中原篤史	世界を見る眼
タイの労働力不足の現状と若者の苦悩	高橋尚子	世界を見る眼
ブックフェアの「異変」——タイ政党の広報戦略と若者の政治関心	小林磨理恵	世界を見る眼
中国における環境分野での懲罰的損害賠償の導入と生態系保護キャンペーン	山田浩成	世界を見る眼
世襲環境が整う—2023年カンボジア総選挙	山田裕史 新谷春乃	世界を見る眼
(グローバルサウスと世界) 第1回 グローバルサウスの経済的影響力 —世界経済の「第三の極」をどうとらえるか	磯野生茂	世界を見る眼
エクアドル臨時総選挙—前代未聞の大統領候補暗殺が国を震撼させる	木下直俊	世界を見る眼
(グローバルサウスと世界) 第2回 インド——「グローバルサウスの盟主」の虚像と実像??	湊一樹	世界を見る眼
(グローバルサウスと世界) 第3回 南アフリカ——「解放」のレガシーと経済的プラグマティズム	牧野久美子	世界を見る眼
タクシン派連立政権の成立はタイ政治に安定をもたらすのか?	青木まき	世界を見る眼
(グローバルサウスと世界) 第4回 ブラジルは戻ってきた—返り咲いたルーラ大統領の外交	近田亮平	世界を見る眼
権力は移譲されたのか?—カンボジアにおける「世襲政権」の誕生	山田裕史	世界を見る眼
サプライズ続きの 2023年アルゼンチン大統領選	菊池啓一	世界を見る眼

IV. 研究成果の発信普及

(グローバルサウスと世界) 第5回 BRICS に中東・アフリカ諸国が加わることの意味 —エジプトを事例に考える	ダルウィッシュ・ホサム	世界を見る眼
(グローバルサウスと世界) 第6回 トルコ はグローバルサウスに該当するのか—4つの 側面からの検証	今井宏平	世界を見る眼
(グローバルサウスと世界) 第7回 ベトナム —曖昧戦略に生き残りをかけるインド太 平洋の「スイングステート」	石塚二葉	世界を見る眼
(2024年インドネシアの選挙) 第1回 大統 領選挙の見どころ—ジョコウィ路線の継承 をめぐる三つ巴の争い	東方孝之	世界を見る眼
3選エルドアンのトルコ—「経済合理性への 回帰」	間寧	世界を見る眼
2024年台湾総統・立法院選挙と今後の展望	黄偉修	世界を見る眼
(2024年インドネシアの選挙) 第2回 イン ドネシアからの大統領選挙キャンペーン報告 —選挙の公正性は守られるのか	水野祐地	世界を見る眼
2023年インドネシアの十大ニュース	インドネシア・グループ (代表・川村晃一)	世界を見る眼
バングラデシュの後発開発途上国卒業がもた らす経済的影響—シミュレーションによる分 析	早川和伸 熊谷聡	世界を見る眼
(2024年インドネシアの選挙) 第3回 なぜ プラボウォは圧勝できたのか?—2024年大 統領選挙を開票速報から分析する	川村晃一	世界を見る眼
深化する台湾とチェコの関係—アダモヴァ ー下院議長の訪台	柏瀬あすか	海外研究員レ ポート

IV. 研究成果の発信普及

選挙ポスターから見るトルコのダブル選挙	今井宏平	海外研究員レポート
台湾南部におけるデング熱の感染拡大と対応 —蚊の繁殖を「巡、倒、清、刷」で防止	柏瀬あすか	海外研究員レポート
法整備は「不足」か「不要」か—南米コロンビアの博物館事情	則竹理人	海外研究員レポート
[ワールド・イン・ファッション] 第4回 モザンビーク・ファッション・ウィーク — エキゾチックな港町マップならではの文化融合	網中昭世	コラム
[語学汗まみれ] 第2回 ビルマ語—外部 者として地域研究するという事	長田紀之	コラム
[途上国研究の最先端] 第69回 ジェン ダー教育は役に立つのか	福西隆弘	コラム
[アジアトイレ紀行] 第1回 中国の 「トイレ革命」	山田七絵	コラム
[途上国研究の最先端] 第70回 なぜ病 院へ行かないのか?—植民地期の組織的医 療活動と現代アフリカの医療不信	工藤友哉	コラム
[ワールド・イン・ファッション] 第5回 仕立屋Nが描く夢—ポスト・コロナのイスタ ンブルから	村上薫	コラム
[途上国研究の最先端] 第71回 貧困層 向け現金給付政策の波及効果	牧野百恵	コラム
[アジアトイレ紀行] 第2回 日本—ト イレではない。それは、便所。	熊谷聡	コラム
[途上国研究の最先端] 第72回 社会的 排除の遺産—コロンビア、ハンセン病患者 の子孫が示す身内愛	工藤友哉	コラム
[語学汗まみれ] 第3回 日本語—ラオス 生まれの私が「世界一難しい言語」と向き合 って30年	ケオラ・スックニラン	コラム

IV. 研究成果の発信普及

<p>〔おしえて知りたい途上国と社会〕 第20回 どうしたらウクライナに平和が戻りますか？</p>	<p>ヴァレンティナ・ロマノ ヴァ 石塚二葉（訳）</p>	<p>コラム</p>
<p>〔途上国研究の最先端〕 第73回 家庭から子どもに伝わる遺伝子以外のもの—遺伝対環境論争への一石</p>	<p>伊藤成朗</p>	<p>コラム</p>
<p>〔アジアトイレ紀行〕 第3回 インドネシア—日本を超える？隙のない清潔なトイレ</p>	<p>土佐美菜実</p>	<p>コラム</p>
<p>〔語学汗まみれ〕 第4回 インドネシア語—および関連諸語との悪戦苦闘</p>	<p>加納啓良</p>	<p>コラム</p>
<p>〔途上国研究の最先端〕 第74回 チーフは救世主？ コンゴ民主共和国での徴税実験と歳入への効果</p>	<p>工藤友哉</p>	<p>コラム</p>
<p>〔語学汗まみれ〕 第5回 ヒンディー語—黒い文字と水牛</p>	<p>辻田祐子</p>	<p>コラム</p>
<p>〔アジアトイレ紀行〕 第4回 韓国—紙、流すべきか、流さざるべきか</p>	<p>安倍誠</p>	<p>コラム</p>
<p>〔途上国研究の最先端〕 第75回 権威主義体制の不意を突く—スーダンの反体制運動における戦術の革新</p>	<p>谷口友季子</p>	<p>コラム</p>
<p>〔途上国研究の最先端〕 第76回 紛争での性暴力はどういう場合に起こりやすいのか？</p>	<p>牧野百恵</p>	<p>コラム</p>
<p>〔ワールド・イン・ファッション〕 第6回 ベトナム女性の普段着「ドーボ」にみる不易流行</p>	<p>荒神衣美</p>	<p>コラム</p>
<p>〔アジアトイレ紀行〕 第5回 トルコ—いにしへのトイレに思いを馳せつつウォシュレットの原型を体感せよ</p>	<p>今井宏平</p>	<p>コラム</p>
<p>〔アジアトイレ紀行〕 第6回 ベトナム—奥深き農村トイレ文化</p>	<p>荒神衣美</p>	<p>コラム</p>
<p>〔途上国研究の最先端〕 第77回 最低賃金引き上げの影響（その5） ブラジルでは賃金格差が縮小し雇用も減らなかったが.....</p>	<p>伊藤成朗</p>	<p>コラム</p>

IV. 研究成果の発信普及

[途上国研究の最先端] 第78回 なぜ売買契約書を作成しないのか? コンゴ民主共和国における訪問販売実験	工藤友哉	コラム
[アジアトイレ紀行] 第7回 イラン—洗え、洗え、の爽やかトイレ	岩崎葉子	コラム
[途上国研究の最先端] 第79回 国際的な監視圧力は製造業の労働環境を改善するか? バングラデシュのラナ・プラザ崩壊のその後	永島優	コラム
[途上国研究の最先端] 第80回 民主化で差別が強化される?—インドネシアの公務員昇進にみるアイデンティティの政治化	川中豪	コラム
[アジアトイレ紀行] 第8回 ウズベキスタン—トイレをめぐる新米研究者の冒険記	土居海斗	コラム
[途上国研究の最先端] 第81回 バングラデシュのラナ・プラザ崩壊のその後(2)—事故に見舞われた工場に発注をかけていたアパレル小売企業は、事故とどう向き合ったのか?	永島優	コラム
[語学汗まみれ] 第6回 中国語(台湾)—言葉を学びながらつくる繋がり	佐藤幸人	コラム
[おしえて知りたい途上国と社会] 第21回 途上国の水不足問題について教えてください	ダルウィッシュ・ホサム	コラム
題名	執筆者	カテゴリ
2022年マレーシア総選挙における「緑の波」とその背景	谷口友季子	論考
ベネズエラふたたび政治の季節—権威主義体制下の選挙と国際的要因	坂口安紀	論考
大国の隣で生きる—フィンランドとトルコ	今井宏平	世界を見る眼

IV. 研究成果の発信普及

タイ下院総選挙 2023—選挙の先を睨んだ政党間の攻防	青木まき	世界を見る眼
マルコス政権の『フィリピン開発計画 2023-2028』	鈴木有理佳	世界を見る眼
世界各国の輸入における中国依存度	早川和伸	世界を見る眼
(2022年中国共産党第20回党大会) 第6回 習近平時代における欧州の対中姿勢の変化	ヴィダ・マチケナイテ	世界を見る眼
インドネシアのU20男子W杯開催国への野心と挫折—その舞台裏での大統領選挙に向けた駆け引き	水野祐地	世界を見る眼
革新派野党の躍進、タクシン派野党の迷走—タイ下院選挙の分析と連立形成への展望	青木まき	世界を見る眼
エルドアンの総力選挙—2023年5月トルコ大統領・国会選挙	間寧	世界を見る眼
安定的な世襲の実現に向けて—2023年カンボジア総選挙	山田裕史 新谷春乃	世界を見る眼
ホンジュラス内政からみた台湾から中国への外交関係切替	中原篤史	世界を見る眼
タイの労働力不足の現状と若者の苦悩	高橋尚子	世界を見る眼
ブックフェアの「異変」—タイ政党の広報戦略と若者の政治関心	小林磨理恵	世界を見る眼
中国における環境分野での懲罰的損害賠償の導入と生態系保護キャンペーン	山田浩成	世界を見る眼
世襲環境が整う—2023年カンボジア総選挙	山田裕史 新谷春乃	世界を見る眼
(グローバルサウスと世界) 第1回 グローバルサウスの経済的影響力—世界経済の「第三の極」をどうとらえるか	磯野生茂	世界を見る眼
エクアドル臨時総選挙—前代未聞の大統領候補暗殺が国を震撼させる	木下直俊	世界を見る眼

IV. 研究成果の発信普及

(グローバルサウスと世界) 第2回 インド —「グローバルサウスの盟主」の虚像と実像??	湊一樹	世界を見る眼
(グローバルサウスと世界) 第3回 南アフリカ —「解放」のレガシーと経済的プラグマティズム	牧野久美子	世界を見る眼
タクシン派連立政権の成立はタイ政治に安定をもたらすのか?	青木まき	世界を見る眼
(グローバルサウスと世界) 第4回 ブラジルは戻ってきた—返り咲いたルーラ大統領の外交	近田亮平	世界を見る眼
権力は移譲されたのか?—カンボジアにおける「世襲政権」の誕生	山田裕史	世界を見る眼
サプライズ続きの 2023 年アルゼンチン大統領選	菊池啓一	世界を見る眼
(グローバルサウスと世界) 第5回 BRICS に中東・アフリカ諸国が加わることの意味—エジプトを事例に考える	ダルウィッシュ・ホサム	世界を見る眼
(グローバルサウスと世界) 第6回 トルコはグローバルサウスに該当するのか—4つの側面からの検証	今井宏平	世界を見る眼
(グローバルサウスと世界) 第7回 ベトナム—曖昧戦略に生き残りをかけるインド太平洋の「スイングステート」	石塚二葉	世界を見る眼
(2024年インドネシアの選挙) 第1回 大統領選挙の見どころ—ジョコウィ路線の継承をめぐる三つ巴の争い	東方孝之	世界を見る眼
3選エルドアンへのトルコ—「経済合理性への回帰」	間寧	世界を見る眼
2024年台湾総統・立法院選挙と今後の展望	黄偉修	世界を見る眼

IV. 研究成果の発信普及

(2024年インドネシアの選挙) 第2回 イン ドネシアからの大統領選挙キャンペーン報告 —選挙の公正性は守られるのか	水野祐地	世界を見る眼
2023年インドネシアの十大ニュース	インドネシア・グループ (代表・川村晃一)	世界を見る眼
バングラデシュの後発開発途上国卒業がもた らす経済的影響—シミュレーションによる分 析	早川和伸 熊谷聡	世界を見る眼
(2024年インドネシアの選挙) 第3回 なぜ プラボウォは圧勝できたのか?—2024年大 統領選挙を開票速報から分析する	川村晃一	世界を見る眼
深化する台湾とチェコの関係—アダモヴァ ー下院議長の訪台	柏瀬あすか	海外研究員レ ポート
選挙ポスターから見るトルコのダブル選挙	今井宏平	海外研究員レ ポート
台湾南部におけるデング熱の感染拡大と対応 —蚊の繁殖を「巡、倒、清、刷」で防止	柏瀬あすか	海外研究員レ ポート
法整備は「不足」か「不要」か—南米コロ ンビアの博物館事情	則竹理人	海外研究員レ ポート
[ワールド・イン・ファッション] 第4回 モザンビーク・ファッション・ウィーク — エキゾチックな港町マプトならではの文化融 合	網中昭世	コラム
[語学汗まみれ] 第2回 ビルマ語—外部 者として地域研究するということ	長田紀之	コラム
[途上国研究の最先端] 第69回 ジェン ダー教育は役に立つのか	福西隆弘	コラム
[アジアトイレ紀行] 第1回 中国の 「トイレ革命」	山田七絵	コラム

IV. 研究成果の発信普及

〔途上国研究の最先端〕 第70回 なぜ病院へ行かないのか？—植民地期の組織的医療活動と現代アフリカの医療不信	工藤友哉	コラム
〔ワールド・イン・ファッション〕 第5回 仕立屋Nが描く夢—ポスト・コロナのイスタンブールから	村上薫	コラム
〔途上国研究の最先端〕 第71回 貧困層向け現金給付政策の波及効果	牧野百恵	コラム
〔アジアトイレ紀行〕 第2回 日本—トイレではない。それは、便所。	熊谷聡	コラム
〔途上国研究の最先端〕 第72回 社会的排除の遺産—コロンビア、ハンセン病患者の子孫が示す身内愛	工藤友哉	コラム
〔語学汗まみれ〕 第3回 日本語—ラオス生まれの私が「世界一難しい言語」と向き合って30年	ケオラ・スックニラン	コラム
〔おしえて知りたい途上国と社会〕 第20回 どうしたらウクライナに平和が戻りますか？	ヴァレンティナ・ロマノヴァ 石塚二葉（訳）	コラム
〔途上国研究の最先端〕 第73回 家庭から子どもに伝わる遺伝子以外のもの—遺伝対環境論争への一石	伊藤成朗	コラム
〔アジアトイレ紀行〕 第3回 インドネシア—日本を超える？隙のない清潔なトイレ	土佐美菜実	コラム
〔語学汗まみれ〕 第4回 インドネシア語—および関連諸語との悪戦苦闘	加納啓良	コラム
〔途上国研究の最先端〕 第74回 チーフは救世主？ コンゴ民主共和国での徴税実験と歳入への効果	工藤友哉	コラム
〔語学汗まみれ〕 第5回 ヒンディー語—黒い文字と水牛	辻田祐子	コラム
〔アジアトイレ紀行〕 第4回 韓国—紙、流すべきか、流さざるべきか	安倍誠	コラム

IV. 研究成果の発信普及

<p>[途上国研究の最先端] 第75回 権威主義体制の不意を突く—スーダンの反体制運動における戦術の革新</p>	<p>谷口友季子</p>	<p>コラム</p>
<p>[途上国研究の最先端] 第76回 紛争での性暴力はどういう場合に起こりやすいのか？</p>	<p>牧野百恵</p>	<p>コラム</p>
<p>[ワールド・イン・ファッション] 第6回 ベトナム女性の普段着「ドーボ」にみる不易流行</p>	<p>荒神衣美</p>	<p>コラム</p>
<p>[アジアトイレ紀行] 第5回 トルコ—いにしへのトイレに思いを馳せつつウォシュレットの原型を体感せよ</p>	<p>今井宏平</p>	<p>コラム</p>
<p>[アジアトイレ紀行] 第6回 ベトナム—奥深き農村トイレ文化</p>	<p>荒神衣美</p>	<p>コラム</p>
<p>[途上国研究の最先端] 第77回 最低賃金引き上げの影響（その5） ブラジルでは賃金格差が縮小し雇用も減らなかったが.....</p>	<p>伊藤成朗</p>	<p>コラム</p>
<p>[途上国研究の最先端] 第78回 なぜ売買契約書を作成しないのか？ コンゴ民主共和国における訪問販売実験</p>	<p>工藤友哉</p>	<p>コラム</p>
<p>[アジアトイレ紀行] 第7回 イラン—洗え、洗え、の爽やかトイレ</p>	<p>岩崎葉子</p>	<p>コラム</p>
<p>[途上国研究の最先端] 第79回 国際的な監視圧力は製造業の労働環境を改善するか？ バングラデシュのラナ・プラザ崩壊のその後</p>	<p>永島優</p>	<p>コラム</p>
<p>[途上国研究の最先端] 第80回 民主化で差別が強化される？—インドネシアの公務員昇進にみるアイデンティティの政治化</p>	<p>川中豪</p>	<p>コラム</p>
<p>[アジアトイレ紀行] 第8回 ウズベキスタン—トイレをめぐる新米研究者の冒険記</p>	<p>土居海斗</p>	<p>コラム</p>

IV. 研究成果の発信普及

<p>[途上国研究の最先端] 第81回 バングラデシュのラナ・プラザ崩壊のその後(2)—事故に見舞われた工場に発注をかけていたアパレル小売企業は、事故とどう向き合ったのか?</p>	永島優	コラム
<p>[語学汗まみれ] 第6回 中国語(台湾)—言葉を学びながらつくる繋がり</p>	佐藤幸人	コラム
<p>[おしえて知りたい途上国と社会] 第21回 途上国の水不足問題について教えてください</p>	ダルウィッシュ・ホサム	コラム

2. 国際シンポジウム

シンポジウム名	開催日時	場所	講師	参加者数
<p>『ビジネスと人権と環境』デュエーディリジェンスのさらなる可能性 - OECD 多国籍企業行動指針の改訂をうけて ※ハイブリッド開催</p>	<p>2023年7月6日(木) 14:00 ~16:00</p>	<p>東京・オンライン</p>	<p>山田美和(新領域研究センター)、武内良樹(経済協力開発機構(OECD))、アラン・ヨルゲンセン(経済協力開発機構(OECD))、アニタ・ラマサストリ(元国連ビジネスと人権作業部会委員、ワシントン大学ロースクール) 高橋大祐(真和総合法律事務所)、木下由香子(在欧日系ビジネス協議会 CSR 委員会、BIAC 日本代表委員)、小島岳晴(国際協力機構(JICA))</p>	<p>627</p>
<p>「ビジネスに関連する人権の保護と今後の法制度整備支援」～日本とASEANのグッド・プラクティスから救</p>	<p>2023年7月7日(金) 13:00 ~16:30</p>	<p>東京</p>	<p>山田美和(新領域研究センター)、ユユン・ワニングラム(ASEAN 政府間人権委員会(AICHR) インドネシア政府代表)、アニタ・ラマサストリ(元国連ビジネスと人権作業部会委員、ワシントン大学ロースク</p>	<p>381</p>

IV. 研究成果の発信普及

<p>済・苦情処理メカニズムの実例を学び今後の法律制度整備支援の役割について考える～ (法務省共催)</p>			<p>ル)、アラン・ヨルゲンセン(経済協力開発機構(OECD))、ナリーラック・パイチャイヤブーム(タイ法務省権利自由擁護局)、内藤晋太郎(法務省 法務総合研究所)、矢吹公敏(弁護士、一般社団法人 JP-MIRAI)、ネティトン・プラディットサーン(チャロン・ポカパングループ、)、渡邊廣之(イオン株式会社)、國井弘樹(法務省 法務総合研究所)、竹原成悦(国際協力機構(JICA))</p>	
<p>世界銀行・朝日新聞共催国際シンポジウム 「『グローバルサウス』の新興国と世界秩序の再編」 ※ハイブリッド開催</p>	<p>2024年3月6日(水) 14:00～17:00</p>	<p>東京・オンライン</p>	<p>村山真弓(理事)、佐藤千鶴子(地域研究センター)、近田亮平(地域研究センター)、深尾京司(所長)、西尾昭彦(世界銀行)、Prof. Harsh V. Pant (King's College London, Observer Research Foundation, New Delhi), Dr. Lili Yan Ing, (Economic Research Institute for ASEAN and East Asia (ERIA))、武内進一(東京外国語大学)、北野尚宏(早稲田大学理工学術院)</p>	<p>630</p>

3. 講演会・セミナー等の活動

(1) 専門講座

講座名	開催日	場所	講師	参加者数
<p>「変わるASEAN・日本経済関係」第1回 総論/日本のインフラ整備支援の経済効果/ASEANと日本との貿易・投資関係(オンライン)</p>	<p>2023年12月4日(月) 14:00～16:00</p>	<p>オンライン</p>	<p>濱田 美紀(開発研究センター)、熊谷 聡(開発研究センター)、孟 渤(開発研究センター)</p>	<p>275</p>

IV. 研究成果の発信普及

「変わる ASEAN・日本経済関係」第 2 回 日・ASEAN 経済協力 ASEAN 各国と日本の経済関係 ①ラオス、ミャンマー (オンライン)	2023 年 12 月 7 日(木) 14:00 ~16:00	オンライン	梅崎 創 (開発研究センター、ケオラ・スックニラン (開発研究センター)、工藤 年博 (政策研究大学院大学)	209
「変わる ASEAN・日本経済関係」第 3 回 日・ASEAN 経済協力 ASEAN 各国と日本の経済関係 ②シンガポール、マレーシア、インドネシア (オンライン)	2023 年 12 月 14 日(木) 14:00~16:00	オンライン	久末 亮一 (開発研究センター)、熊谷 聡 (開発研究センター)、濱田 美紀 (開発研究センター)	279
「変わる ASEAN・日本経済関係」第 4 回 日・ASEAN 経済協力 ASEAN 各国と日本の経済関係 ③フィリピン、タイ、ベトナム (オンライン)	2023 年 12 月 21 日(木) 14:00~16:00	オンライン	鈴木有理佳 (開発研究センター)、塚田和也(開発研究センター)、藤田麻衣 (地域研究センター)	309

(2) オンライン講座

講座名	開催日	講師	参加者数
国家と企業—ベトナム、エジプトの事例 (オンライン)	2023 年 4 月 13 日 (木) 13:30~15:00	藤田麻衣 (地域研究センター)、土屋一樹(地域研究センター)	557
人工衛星から見たコロナと経済社会の影響 (オンライン)	2023 年 4 月 27 日 (木) 13:30~14:45	ケオラ・スックニラン(開発研究センター)	362
変容する「国際金融都市」香港：長期の金融史からみる特質とその将来 (オンライン)	2023 年 5 月 18 日 (木) 13:30~14:45	久末亮一(開発研究センター)	216

IV. 研究成果の発信普及

湾岸アラブ諸国の金融システムと民間企業育成（オンライン）	2023年5月24日 （水） 13:30～14:45	齋藤純（地域研究センター）	142
フィリピンの人的資本と人材育成——ヒトとシゴトの距離——（オンライン）	2023年6月8日 （木）13:30～ 14:45	柏原千英（学術情報センター）、鈴木有理佳（開発研究センター）	150
『アジア動向年報2023』出版記念セミナー第1回—習近平政権、3期目の始動（オンライン）	2023年6月21日 （水）18:00～ 19:30	山田紀彦（地域研究センター）、内藤寛子（地域研究センター）、丁可（開発研究センター）	270
アジ研中国講座第1回「第3期習近平政権の本格始動の現状と課題」（オンライン）	2023年6月29日 （木）14:00～ 15:20	松本はる香（地域研究センター）、佐々木智弘（防衛大学校）	340
『アジア動向年報2023』出版記念セミナー第2回—フィリピン政治、カンボジア政治（オンライン）	2023年7月26日 （水）18:00～ 19:30	山田紀彦（地域研究センター）、新谷春乃（地域研究センター）、渡辺綾（地域研究センター）	148
「ブラジルとペルーの変化と方向性：『ラテンアメリカ・レポート』Vol.40, No.1の発行にあわせて」（オンライン）	2023年8月4日 （金）10:30～ 12:00	近田亮平（地域研究センター）、菊池啓一（地域研究センター）、清水達也（地域研究センター）、磯田沙織（神田外語大学）	174
長期政権の力学：トルコからの「横展開」—マレーシア、ブラジルと比較する—（オンライン）	2023年10月3日 （火）14:00～15:30	間寧（地域研究センター）、中村正志（地域研究センター）、菊池啓一（地域研究センター）	136
大塚啓二郎著『「革新と発展」の開発経済学』（東洋経済）の狙い（オンライン・会場）	2023年10月10日 （火）16:00～ 16:50	大塚啓二郎（新領域研究センター）、園部哲史（アジア開発銀行研究所）	147
アジ研中国講座第2回「東アジアにおける国際分業体制の再編と中国の対応」（オンライン）	2023年10月26日 （木）14:00～ 15:20	木村公一郎（開発研究センター）、丁可（開発研究センター）	296

IV. 研究成果の発信普及

思い込みを問い直す『ジェンダー格差：実証経済学は何を語るか』（中公新書）が明らかにするもの（オンライン・会場）	2023年11月15日（水）15:00～16:30	牧野百恵（開発研究センター）、川上桃子（地域研究センター）、瀬地山角（東京大学大学院）	194
アジ研中国講座第3回「経済の視点からみる台湾総統選挙」（オンライン）	2023年12月18日（月）14:00～15:20	川上桃子（地域研究センター）、松本はる香（地域研究センター）	543
「ピンクタイドから変化するラテンアメリカ：『ラテンアメリカ・レポート』Vol.41, No.1の発行にあわせて」（オンライン）	2024年2月6日（火）10:30～12:00	近田亮平（地域研究センター）、三浦航太（地域研究センター）、北野浩一（新領域研究センター）、木下直俊（公益財団法人国際金融情報センター(JCIF)）、田中秀一（一橋大学大学院）、中沢知史（立命館大学言語教育センター）	88
賛助会講演会「イスラエル・ハマスの軍事衝突—周辺国はどう捉えたか」（オンライン・会場）	2024年2月21日（水）15:00～17:15	村山真弓（理事）、間寧（地域研究センター）、ダルウィッシュ・ホサム（地域研究センター）、齋藤純（地域研究センター）、石黒大岳（地域研究センター）、今井宏平（海外派遣員）、酒井啓子（千葉大学）	42
ベネズエラふたたび政治の季節—権威主義体制下の選挙と国際的要因（オンライン）	2024年3月14日（木）10:30～11:45	坂口安紀（地域研究センター）	92
専門家に聞いてみよう！『貿易でサステナブルな社会を実現できますか？』—SDGsや気候変動に対するWTOの役割（オンライン・会場）	2024年3月15日（金）15:00～17:20	箭内彰子（新領域研究センター）、Michael Roberts（WTO）	17

IV. 研究成果の発信普及

著者解説と論評～『マレーシアに学ぶ経済発展戦略：「中所得国の罨」を克服するヒント』（作品社）（オンライン）	2024年3月19日 （火）15:00～ 16:30	熊谷聡(開発研究センター)、 中村正志(地域研究センター)、 渡邊真理子(学習院大学)、 川中豪(亜細亜大学、 アジア経済研究所連携研究員)	178
---	----------------------------------	--	-----

(3) 夏期公開講座 <オンライン・会場>

講座名	開催日	講師	参加者数
コース1「開発途上国における手話とろう社会の実情」（オンライン）	2023年7月11日(火) 13:30～16:00	森壮也（新領域研究センター）、 古田弘子（熊本大学）、 宮本律子（秋田大学）	37
コース2「国際社会の分断とグローバルサウス」（オンライン）	2023年7月19日(水) 13:30～16:00	川村晃一（地域研究センター）、 湊一樹（地域研究センター）、 牧野久美子（地域研究センター）、 近田亮平（地域研究センター）、 磯野生茂（東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)）	50
コース3「韓国の政権交代と経済政策」（オンライン）	2023年8月1日(火)13:30～ 16:00	安倍誠（新領域研究センター）、 渡邊雄一（地域研究センター）、 奥田聡（亜細亜大学）、 磯崎典世（学習院大学）	41
コース4「次世代の実証開発経済学」（オンライン・会場）	2023年8月7日(月)13:30～ 16:00	會田剛史（開発研究センター）、 大塚啓二郎（新領域研究センター）、 澤田康幸（東京大学大学院）、 高野紀（京都大学大学院）	74
コース5「仕事の経済学入門：実証研究からみる企業のウチとソト」（オンライン・会場）	2023年8月30日(水)13:30～ 15:30	明日山陽子（開発研究センター）、 橋口善浩（開発研究センター）、 町北朋洋（京都大学）	33
コース6「政治学におけるデータ分析の舞台裏」（オンライン）	2023年9月5日(火)13:30～ 16:00	谷口友季子（地域研究センター）、 菊田恭輔（地域研究センター）、 安中進（弘前大学）、 于海春（北海道大学）	50

IV. 研究成果の発信普及

コース7 「21世紀のラテンアメリカ政治の諸相—政治学（アドバンス）のテキスト作成中！」（オンライン）	2023年9月20日(水) 13:30～16:00	上谷直克（地域研究センター）、菊池啓一（地域研究センター）、三浦航太（地域研究センター）、馬場香織（北海道大学大学院）	32
コース8 「蔡英文政権の8年と2024年台湾総統選挙」（オンライン）	2023年9月26日(火) 13:30～16:30	佐藤幸人（新領域研究センター）、川上桃子（地域研究センター）、竹内孝之（地域研究センター）、小笠原欣幸（東京外国語大学）	74

(4) 地方講演会

講座名	開催日	場所	講師	参加者数
中国経済の見通しと中国の経済政策そしてその方向性について ※全国中小貿易業大阪連盟、ジェトロ大阪本部等共催	2023年11月13日(月) 14:00～16:30	大阪	丁可(開発研究センター)、上伊藤紀忠(全国中小貿易業連盟)、高田英樹(日本銀行大阪支店)	80
韓国経済と九州へのインバウンド（ハイブリッド） ※九州経済調査協会共催	2023年11月21日(火) 14:30～16:30	福岡・オンライン	安倍誠(新領域研究センター)、松清一平(アジアフューチャー株式会社)	89
インドビジネスセミナー ※ジェトロ鳥取、鳥取県立図書館共催	2024年1月18日(木) 13:45～16:00	鳥取	湊一樹(地域研究センター)、河野将史(ジェトロ調査部)	13

(5) 地元貢献型講演会

講座名	開催日	場所	講師	参加者数
-----	-----	----	----	------

IV. 研究成果の発信普及

地元貢献型講演会 (渋谷幕張中・高 GLFC プログラムに おけるセミナー)	2023年12月1日 (金) 16:00~17:30	千葉	ロマノヴァ・ヴァレンテ ィナ (新領域研究センタ ー)	54
---	-------------------------------	----	-----------------------------------	----

(6) 海外講演会

講座名	開催日	講師	参加者数
分断リスクに向き合う国際ビジネスの現状 (JETRO 年次報告より) およびアンワル政権発足1 年を迎えるマレーシア政治 経済最新事情 (オンライン) ※ジェトロ・クアラルン プールの共催	2023年10 月10日(火) 14:00~ 15:50 (マレーシ ア時間)	熊谷聡 (開発研究センター)、中 村正志 (地域研究センター)、田 中麻理 (調査部)	83

(7) アジア経済研究所発展途上国研究奨励賞表彰式・受賞記念講演会

テーマ (受賞作品)	開催日	場所	講師	参加者数
“The Dictator's Dilemma at the Ballot Box: Electoral Manipulation, Economic Maneuvering, and Political Order in Autocracies”	2023年7月 5日(水) 14:00~ 15:45	千葉・オ ンライン	東島雅昌 (東京大学社会 科学研究所)	53
『奴隷貿易をこえて-西ア フリカ・インド綿布・世界 経済』			小林和夫 (早稲田大学政 治経済学術院)	

4. プレスリリース、メディア出演

(1) プレスリリース

	発表日	発表形態	案件

IV. 研究成果の発信普及

1	2023/5/24	参考資料配布	『アジア動向年報 2023』刊行
2	2023/6/5	参考資料配布	第6期(2023年)アイデアス(IDEAS)研修プログラム 国内研修生募集
3	2023/6/9	記者発表 (レク無し)	第44回「アジア経済研究所発展途上国研究奨励賞」 (2023年度)表彰作品決定について
4	2023/6/22	参考資料配布	国際シンポジウム「『ビジネスと人権と環境』 デュー デイルジェンスのさらなる可能性—OECD 多国籍企業 行動指針の改訂をうけて—」(7/6) 案内
5	2023/6/27	参考資料配布	夏期公開講座案内
6	2023/9/8	参考資料配布	IDE スクエア新企画「グローバルサウスと世界」連載 開始
7	2023/11/20	参考資料配布	RIN 会合
8	2023/11/21	参考資料配布	ASEAN 連続セミナー
9	2023/11/21	参考資料配布	幕張アジアアカデミー事業「アジア総合学科」の実施
10	2024/1/19	参考資料配布	国際シンポジウム「『グローバルサウス』の新興国と 世界秩序の再編」案内

(2) テレビ・ラジオ出演

出演メディア	出演日	タイトル	解説者
NHK BS 1 「国際報道 2023」	2023/4/11	インドネシアのパーム油・環境への 悪影響に懸念	道田悦代(新 領域研究セン ター)
BS テレ東 「日経ニュース プ ラス9」	2023/4/23	中国抜き 人口世界一へ インド経済 は本当に躍進するのか?	湊一樹(地域 研究センタ ー)
NHK 「キャッチ!世界 のトップニュー ス」	2023/5/1	トルコ大統領選挙~正念場迎えるエ ルドアン大統領	今井宏平(地域 研究センター)
テレビ朝日 「天下容子ワイ ド!スクランブ ル」	2023/5/3	<ピックアップNEWS>トルコ・ エルドアンが窮地・大統領選で野党 候補が躍進	今井宏平(地 域研究センタ ー)
BS-TBS 「報道 1930」	2023/5/14	“反転攻勢”いつ始まる—エルドアン 氏“落選危機”プーチン氏への影響は	今井宏平(地 域研究センタ ー)

IV. 研究成果の発信普及

BS テレ東 「日経ニューズプラス9」	2023/5/15	接戦！トルコ大統領選・エルドアン政権の行方	今井宏平(地域研究センター)
NHK 「ニュースウォッチ9」	2023/5/15	トルコ大統領選・接戦・与党わずかにリードなぜ？	今井宏平(地域研究センター)
ニッポン放送 「辛坊治郎ズーム そこまで言うか！」	2023/5/24	トルコ大統領選の行方	今井宏平(地域研究センター)
NHK 「おはよう日本」	2023/5/28	トルコ大統領選 28日決選投票 ウクライナ情勢などで存在感増す	間寧(地域研究センター)
フジテレビ 「日曜報道 THE PRIME」	2023/6/4	“ディープフェイク”映像が選挙に影響？落選候補「不正だらけの選挙」	間寧(地域研究センター)
NHK 「ニュース7」	2023/7/9	「アゾフ大隊」元指揮官らウクライナに帰国	今井宏平(地域研究センター)
NHK BS1 「国際報道 2023」	2022/7/10	NATO 首脳会議控え・トルコの言動に“異変”	今井宏平(地域研究センター)
BS テレ東 「日経モーニングプラス FT」	2022/7/31	カンボジア首相・長男に禅譲へ	新谷春乃(地域研究センター)
NHK BS1 「国際報道 2023」	2023/8/30	<SPOT LIGHT>台湾・加速する半導体戦略・成長見据え投資も	佐藤幸人(新領域研究センター)
BS テレ東 「日経モーニングプラス FT」	2023/9/12	アルゼンチン経済苦境 極右人気で通貨下落	菊池啓一(地域研究センター)
テレビ朝日 「大下容子ワイド！スクランブル」	2023/9/25	<ピックアップNEWS>ベネズエラ・ギャング支配の刑務所奪還作戦・ナイトクラブ・動物園など娯楽施設が	坂口安紀(地域研究センター)

IV. 研究成果の発信普及

東海テレビ 「NEWS ONE」	2023/9/28	「契約切れる」との思いもあったか …音信不通の中日レビーラ 米国で はキューバ本国からの不法入国者が 急増中	山岡加奈子 (新領域研究 センター)
テレビ朝日 「大下容子ワイ ド!スクランブ ル」	2023/10/4	<ピックアップNEWS>トルコ・ 国会開幕・エルドアン大統領が世界 に揺さぶり	今井宏平(地 域研究センタ ー)
BS テレ東 「日経ニューズプ ラス9」	2023/11/7	NISA でも人気? GDP 世界5位 続 く株価上昇 インドは本当に“買い”な のか	湊一樹(地域 研究センタ ー)
J-WAVE 「JAM THE PLANET」	2023/11/20	アルゼンチン大統領選の決選投票	菊池啓一(地 域研究センタ ー)
BS テレ東 「日経モーニング プラス FT」	2023/11/21	アルゼンチン新大統領 ドル化政策 に不安	菊池啓一(地 域研究センタ ー)
テレビ朝日 「大下容子ワイ ド!スクランブ ル」	2023/11/27	<NEWSドリル>アルゼンチン次 期大統領・ミレイ氏の人物像と政策	菊池啓一(地 域研究センタ ー)
SPINER 「JAM THE WORLD - UP CLOSE」(ポッド キャスト)	2023/12/4	自国通貨をドルへ!? アルゼンチン の新大統領 公約実現性	菊池啓一(地 域研究センタ ー)
テレビ朝日「大下 容子ワイド!スク ランブル」	2023/12/7	<NEWSドリル>ベネズエラとガ イアナ・領有権めぐり対立の歴史	坂口安紀(地 域研究センタ ー)
BS テレ東 「日経ニューズプ ラス9」	2023/12/7	南米に新たな地政学リスク? 巨大油 田ガイアナを隣国ベネズエラが併合 宣言	坂口安紀(地 域研究センタ ー)
富山テレビ 特別番組「Go global 東南アジア に挑む富山企業」	2024/1/3	Go global 東南アジアに挑む富山企 業	濱田美紀(開 発研究センタ ー)

IV. 研究成果の発信普及

フジテレビ 「日曜報道 THE PRIME」	2024/1/7	台湾総統選・混迷の背景に「中国依存」？	川上桃子（地域研究センター）
NHK BS 国際 「NEWSLINE BIZ」	2024/1/12	BIZ PICKS: Eyes on economic impact of Taiwan's upcoming election	川上桃子（地域研究センター）
読売テレビ 「かんさい情報ネット ten.」	2024/1/12	<中継>あす台湾総統選 三つどもえ激戦 統一か維持か 若者の選択は	川上桃子（地域研究センター）
BS テレ東 「日経モーニングプラス FT」	2024/1/15	台湾 対中強硬を再び選択 安保・供給網に不安	松本はる香（地域研究センター）
BS テレ東 「日経モーニングプラス FT」	2024/1/29	<アジアスポットライト>マレーシア半導体投資を引き付けるワケ アジア経済研究所 熊谷 聡 経済地理研究グループ長	熊谷聡（開発研究センター）
J-WAVE 「JAM THE PLANET」	2024/2/13	『News To The Table』インドネシアの大統領選挙	川村晃一（地域研究センター）
NHK BS1 「国際報道 2024」	2024/2/14	<SPOT LIGHT>インドネシア「首都移転計画」の光と影	佐藤百合（アジア経済研究所名誉研究員）
テレビ朝日 「大下容子ワイド！スクランブル」	2024/2/22	<ピックアップNEWS>暗殺された大統領の妻起訴・真相は？ 不当告発と反論も	山岡加奈子（新領域研究センター）
NHK 「NHK WORLD - JAPAN」	2024/2/23	“INDONESIA AT A CROSSROADS”	川村晃一（地域研究センター）
NHK 「映像の世紀 バタフライ・エフェクト」	2024/2/26	CIA 世界を変えた秘密工作	三浦航太（地域研究センター）

IV. 研究成果の発信普及

BS テレ東 「日経モーニング プラス FT」	2024/3/4	<アジアスポットライト>インドネ シア・先進国入りへの道	川村晃一（地 域研究センタ ー）
NHK 「NHK WORLD - JAPAN」	2024/3/17	Prediksi Hubungan Jepang-Indonesia Pascapemilu 2024	川村晃一（地 域研究センタ ー）

5. 学校来訪対応

学校名	開催日	対応者	参加者数
立教大学大学院経営学研究 科国際経営学専攻公共経営 学コース（MPMA コー ス）	2023 年 5 月 25 日(火) 14:00～ 16:00	菊田恭輔（地域研究センター） 則竹理人（学術情報センター） 金信遇（研究企画部）	修士課程 学生 12 名、引率 教授 1 名
兵庫県立兵庫高校	2023 年 8 月 22 日(火) 15:00～ 17:00	新谷春乃（地域研究センター） 二階宏之（学術情報センター） 金信遇（研究企画部）	第 2 学年 6 名、引 率教師 2 名

6. 第 44 回アジア経済研究所発展途上国研究奨励賞

「アジア経済研究所発展途上国研究奨励賞」は、途上国・地域に関する社会科学及びその周辺分野の調査研究水準の向上と研究奨励に資することを目的として、1980 年度にアジア経済研究所が創設したものである。

2023 年度は、2021 年 10 月～2022 年 9 月の 1 年間に公刊された図書、論文など発展途上国・新興国の経済、社会などの諸問題を調査、分析した作品を対象として、大学や出版社等から推薦された 49 点の中から以下の 2 点を受賞作品として選定した。7 月 5 日（水）にアジア経済研究所において表彰式と著者による記念オンライン講演会を実施した。

【委員長】 倉沢 愛子 氏（慶應義塾大学 名誉教授）

【委員】 上田 元 氏（一橋大学大学院社会学研究科 教授）

栗田 禎子 氏（千葉大学大学院人文科学研究院 教授）

竹中 千春 氏（元・立教大学法学部 教授）

深尾 京司（ジェトロ・アジア経済研究所 所長）

藤田 幸一 氏（青山学院大学国際政治経済学部 教授）

受賞作品：

- ・ “The Dictator's Dilemma at the Ballot Box:

Electoral Manipulation, Economic Maneuvering, and Political Order in Autocracies”
(University of Michigan Press)

著者 東島 雅昌 東京大学 社会科学研究所 比較現代政治部門 准教授

・『奴隷貿易をこえて－西アフリカ・インド綿布・世界経済』（名古屋大学出版会）

著者 小林 和夫 早稲田大学 政治経済学術院 准教授

受賞作以外で最終選考の対象となった作品は以下の1点：

・『現代アラブ君主制の支配ネットワークと資源分配－非産油国ヨルダンの模索』（ナカニシヤ出版）

著者：渡邊 駿（一般財団法人日本エネルギー経済研究所 中東研究センター 主任研究員、京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科 特任助教）

7. 賛助会制度

賛助会制度は、アジア経済研究所の事業活動に賛同をいただいた会員より賛助会費の資金援助を得て、研究成果を広く普及するために設けられた制度である。

賛助会は、企業、団体、大学、研究機関等のための正会員（年会費 140,000 円）と研究所事業に関心のある個人を対象とする個人利用会員（年会費 10,000 円）からなる。2023 年度末の会員口数は、正会員 132、個人利用会員 115 である。

賛助会正会員および個人利用会員は、有料セミナーが無料または割引で受講でき、一部のセミナーについてはライブ配信及び6カ月間のオンデマンド配信が視聴可能である。また、正会員には、アジア経済研究所の各種出版物の送付等を行い、個人利用会員には出版物1種類の送付等を行っている。

8. アジア経済研究所ウェブサイト

研究所ウェブサイトのトップページに掲載しているイベント情報、および研究活動ページのテーマ別研究成果の情報について、常に最新の情報にアクセスできるように見せ方を工夫した。また、研究所の多彩な研究成果への外部からの評価をより広く広報できるよう、受賞一覧ページに賞の説明や写真などを追加し、視覚的にわかりやすく改訂した。研究所の研究事業について、広報部門とも連携し、動画 11 本（研究者紹介 2 本、アジレポ 2 本、アジレク (IDE スクエア解説) 1 本、アジブック 1 本、ショート動画 5 本) を公開し、SNS との相乗効果によるアウトリーチ活動を幅広く行った。

研究所図書館ウェブサイトについても全面的にデザインを改訂し、地域ごとの資料・情報の調べ方に関する案内を一新して、利便性の向上につなげた。学術研究リポジトリ (ARRIDE) に『アジア経済』の論文記事 1,370 件を遡及登録し、研究成果の情報発信とオープンアクセス化に貢献した。

IV. 研究成果の発信普及

2023年度の研究成果のアクセス件数・ダウンロード数の合計は約120万件で、前年度を大きく下回った。数値が減少した要因の一つは、集計対象コンテンツを研究所発行の学術雑誌を発信するデータベース（J-Stage）とARRIDEのみに見直したためである。その他のウェブサイトについては、GDPRや個人情報保護に配慮し、統計取得(=cookieの取得)に同意した方のみカウント可能となる仕様に変更したことから、正確なアクセスログをとることが困難となったため集計対象から除外した。二つめの減少の要因は、2023年4月より、ARRIDEの集計対象からクローラーを除外する設定に変更したため、ARRIDEのダウンロード数が半減したことによる。一方、J-Stageに関しては、昨年度を上回るアクセス数・ダウンロード数を得た。